

Produced by KATOKI HAJIME

GUNDAM FIX FIGURATION

#0025

RX-105はAE(アナハイム・エレクトロニクス)が開発した機体で、反地球連邦政府組織「秘密結社マフティー」へ秘密裡に供給された。ミノフスキー・クラフトとファンネル・ミサイルの搭載が特徴のMSである。ミノフスキー・クラフトは、斥力で飛行を実現する浮遊システムであり、装置の稼働時に機体周辺に発生するフィールドが整流効果を発揮するため、加速性能は良好である。反体制組織の機体であるため詳細は不明だが、その「Ξ(クシー)ガンダム」という名は、かつてアムロ・レイが最後に使用した「V(ビュウ)ガンダム」を継承するという意思表示であるという。

RX-104FF ベーネロペーは、キルケー隊(田村ノブ(レー)隊)の副司令官ケネス・スレップ大佐(後に准将)が月面基地で開発を担当していたMSであり、過激化する[マフティー]の掃討を任務とするキルノ(レー)隊の増強のため、テストパイロットのレーン・エイムを伴い配備された。原型はAEによる「RX-104 オデュッセウスガンダム」であると言われ、フライトユニットを固定装備とするFF(Fixed Flight Unit)タイプがベーネロペーと呼ばれる。当時の標準的なサイズよりひとまわり大きい超大型の機体でありながらMS形態のまま空中戦が可能。同機とも重力下では従来のビクト(ファンネル)兵器が使用不能なため、代替武装として高精度のピンポイント攻撃可能なワイグム・ミサイルを装備している。



RX-105 Ξ GUNDAM

ASSIGNMENT: MAFTY MODEL NUMBER: RX-105
HEIGHT: 28.8m HEAD HEIGHT: 26.8m
WEIGHT: 32.0t FULLY EQUIPMENT WEIGHT: 80.0t
GENERATOR OUTPUT: 3,800kw
PROPULSION: ROCKET THRUSTERS: 140,000kg
MINOVSKY ENGINE, MINOVSKY CRAFT EMITTER, LEG MINOVSKY CRAFT
MATERIAL: GUNDALUM ALLOY SENSOR RANGE: 30,000m
PILOT: MAFTY NABEYU ERIN (aka HATHAWAY NOA)
ARMAMENTS: MISSILE LAUNCHER, BEAM SABER, LARGE MISSILE LAUNCHER,
FUNNEL MISSILE, MEGA BEAM CANNON, BEAM RIFLE, SHIELD
SPECIAL EQUIPMENT: MINOVSKY BARRIER



※写真はイメージです。

クシーガンダムから
ベーネロペーに換装可能。
さらにフライトユニットも着脱が可能。

RX-104FF PENEROPE

ASSIGNMENT: EARTH FEDERATION FORCE (CURRENTLY UNKNOWN UNIT)
MODEL NUMBER: RX-104FF
HEIGHT: 32.5m HEAD HEIGHT: 26.8m
WEIGHT: 38.4t FULLY EQUIPMENT WEIGHT: 112.0t
GENERATOR OUTPUT: 4,200kw
PROPULSION: ROCKET THRUSTERS: 160,000kg
FLIGHT UNIT: SHOULDER MINOVSKY UNIT
BACK MINOVSKY UNIT, LEG MINOVSKY UNIT
SENSOR RANGE: 32,000m
MATERIAL: GUNDALUM ALLOY
PILOT: REIN ELM
ARMAMENTS: BEAM SABER, MEGA PARTICLE CANNON,
VALCUN GUN, FUNNEL MISSILE RACK, BEAM RIFLE, SHIELD
SPECIAL EQUIPMENT: MINOVSKY BARRIER

DESIGN&DIRECTION Katoki Hajime

MODELING: Uéno Kazuyoshi PHOTOGRAPH: Takase Yuuji (Takase Photo Office)
FINISHING: Matsumoto Takashi EXPLANATION: Watanabe Toshihiro (SHINDOSHIA)
COLORING: Miyashita Kenichi INSTRUCTION: Takahashi Masahito
MARKING: Kanno Yuji (Jam) COMMERCIAL DESIGN: Ueno Daisuke (DABHAND)



アナハイム・エレクトロニクスはガンダムをいくつも製造しており「MSZ-006 Ζ(ゼータ)ガンダム」や「逆襲のシャア」に登場する「RX-93 V(ビュウ)ガンダム」などが特に有名ですが、これらギリシア文字を冠するアナハイム・ガンダムの中で、最も新しい機体がRX-105 Ξ(クシー)ガンダムです。これに続くRX-104FFは、Ξ(クシー)の前の機体でありながら、ギリシア文字の呼称は与えられず、「ベーネロペー」と呼ばれます。ベーネロペーは、クシーとは兄弟機という設定であり、また型式番号がクシーのRX-105とひとつ違いのRX-104FFである事からも、極めて近い関係であると思われます。外観上ベーネロペーには巨大なフライトユニットがあるために、クシーとはかなり違った印象ですが、関節や、武装、そしてミノフスキー・クラフトのために左右に大きく広がった肩甲骨構造などに、共通点を見ることが出来ます。これら2機の活躍は、富野由悠季監督の小説「閃光のハサウェイ」で描かれ、機体のデザインは森木靖彦氏によってなされました。歴代ガンダムと異いを伴ってきたフライト・ノアとその息子ハサウェイ・ノアを描いたこの物語は、宇宙世紀を通して描かれた長いサーガのひとつのヒロードとして、ファンからは高く評価されています。

デザイナー・カトキハジメ

六甲模型教材社本店